

# 合併特例区協議会のとりのくみ

平成21年度 第5回 富合町合併特例区協議会

日時：8月19日(水) 場所：富合総合支所 大会議室

## 協議内容

### 1. 平成20年度富合町合併特例区歳入歳出決算について

#### ①決算収支の状況(平成20年10月～平成21年3月31日)

歳入総額……………41,896,132円 歳出総額…36,408,255円  
歳入歳出差引額…5,487,877円

#### ②歳入内訳

合併特例区交付金 40,775,000円 使用料及び手数料 1,089,920円 諸収入 31,212円

#### ③歳出内訳

総務費…28,926,595円(人件費、需用費、ホームページ開設・維持経費、新幹線関連経費)  
衛生費…532,414円(健康の里フェスティバル経費)  
農林水産業費…300,000円(産業祭経費)  
土木費…1,217,596円(雁回公園管理経費)  
教育費…5,431,650円(公民館経費、雁回館・野外運動場経費)

### 2. 富合町合併特例区の区長及び協議会構成員の報酬に関する住民監査請求に係る監査結果について(勧告要旨)

富合町住民から熊本市監査委員に提出されていましたが、区長及び協議会構成委員の給与及び報酬の返還並びに差し止めを求める住民監査請求について、監査委員は違法性は無いとし請求人の請求を棄却しました。しかし、監査を実施した結果、合併特例区構成員の報酬に関しては、特例区長に対して減額の措置を講じるように勧告されました。

特例区協議会としては、特例区長に対して行われた勧告ではありますが、その内容が協議会構成員の報酬額を対象としたものであることから、今後期限(平成21年12月31日)までに、協議会のあり方を含めて、特例区長と相談をしながら対応を検討していくことを確認しました。

### 3. 「富合町老人憩いの家」の整備事業に係るアンケート調査の結果について

#### アンケート調査実施方法

- ・校区内の17の老人クラブ名簿登録者836名に依頼、465名から回答。
- ・広く住民の意見を聴くため全世帯に回覧で周知し募集、1人の応募があった。

#### 今後の取り組み

- ・8月下旬までに囑託員会、老人クラブ連合会の意見の提出予定。
- ・9、10月特例区協議会において改修方針素案の検討・協議を行う。

### 4. 県道田迎木原線の路線バスの試行運転について

試行期間…平成21年10月1日～平成22年3月31日まで

運行バス…熊本バス(交通センター発着)

路線…城南町赤見入口より県立心の医療センターと城南営業所に別れる2路線

新設希望…県立心の医療センター前、木原不動尊前、榎津・サンサンうきっ子前、釈迦堂・工  
バス停 業団地前、(才木、南赤見、赤見入口)〈( )内は城南町〉

運 転…県立心の医療センター(6往復) 城南営業所(6往復を予定)

◎今後路線にある企業、病院等とより利用しやすいバスになるように、時刻を検討中。

◎来年4月以降の継続には期間中に多くの方の利用が必要となります。